

渋井川、吉田川等の湛水排除への対応（第2報）

9月10日から11日にかけての豪雨により、鳴瀬川水系の渋井川、吉田川、善川、竹林川及び北上川水系の二迫川において、破堤、越水、溢水による大規模浸水被害が生じました。

そのため、東北地方整備局において、整備局内の排水ポンプ車8台を現地に派遣し、9月11日8時00分から、湛水の排除を開始しました。

これらに加え、明日朝にかけて、13台の排水ポンプ車を北海道開発局、北陸地方整備局、中部地方整備局から現地に追加展開し、到着次第、湛水排除を開始します。

なお、鳴瀬川水系における9月11日の浸水面積約5,800ha^{*}は、排水ポンプ車と樋門の開放による自然排水の効果などにより、9月12日には約250ha^{*}まで縮小し、多くの地区の浸水が解消されました。

他地整からの追加展開により、湛水排除をより一層強化し、一日も早い浸水解消を図ります。

※数値は速報値であり、今後、変わる可能性があります。

<発表記者会> 宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局


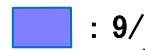
仙台市青葉区二日町9-15 電話 022-225-2171(代)

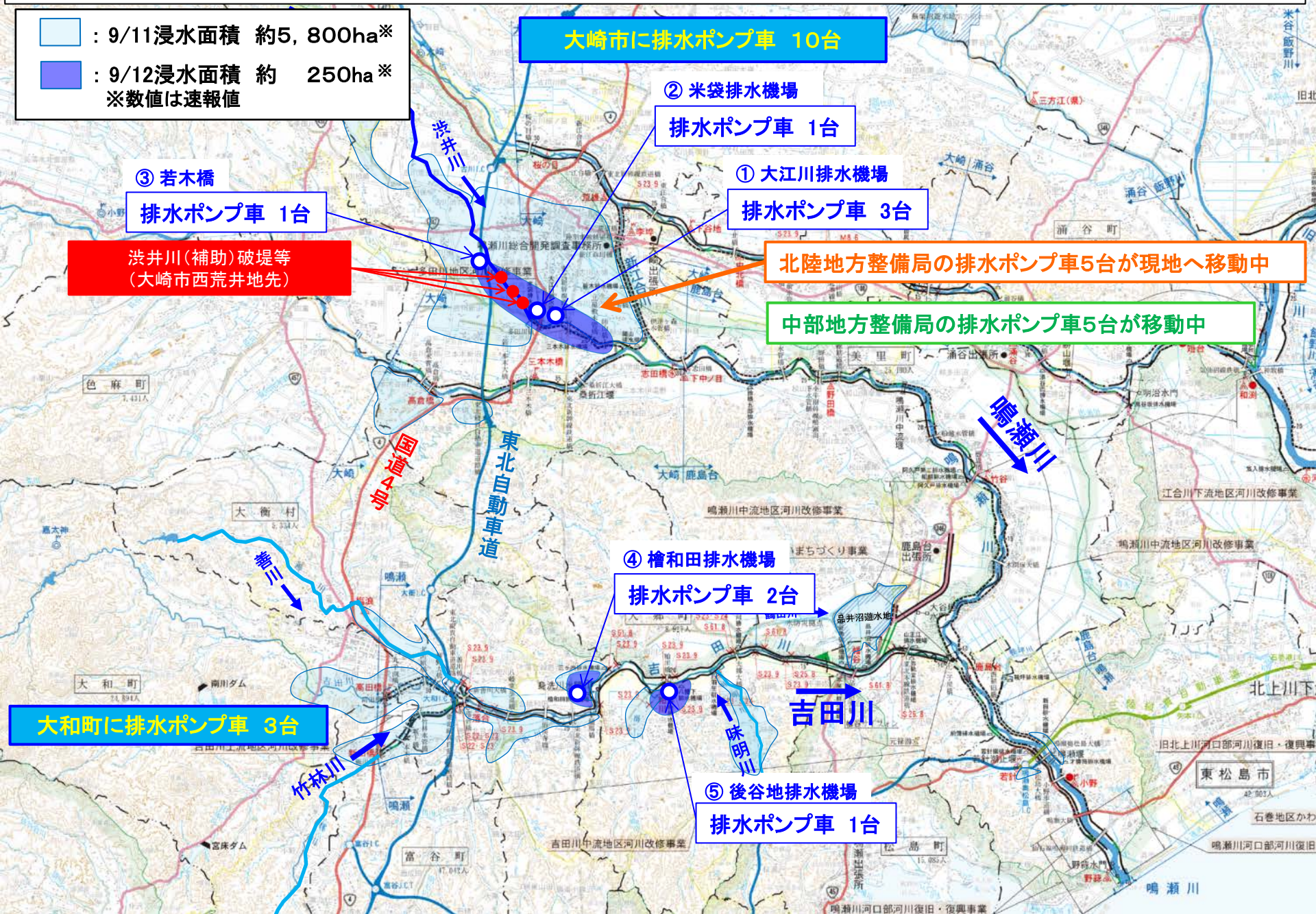
河川部 河川調査官 ノナカ野仲 テンリ典理 (内線 3513)

河川環境課長 キクチ菊地 ユウコウ裕光 (内線 3651)


鳴瀬川水系の決壊等による湛水の排水について

(9/12_18時現在)

-  : 9/11浸水面積 約5,800ha※
 -  : 9/12浸水面積 約 250ha※
- ※数値は速報値



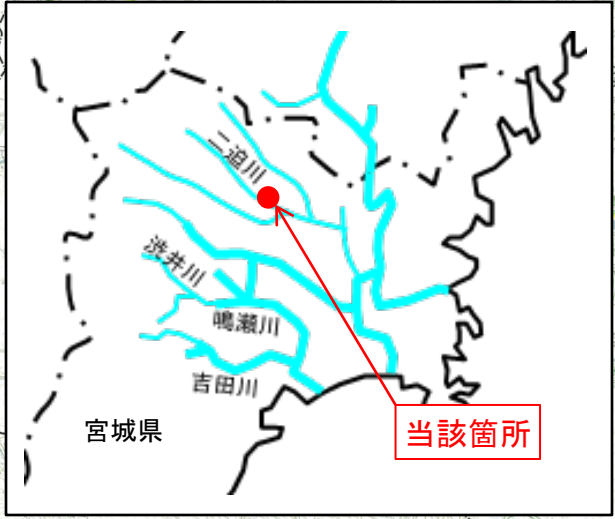
北上川水系の二迫川の決壊等による湛水の排水について(9/12_18時現在)

 : 9/11浸水面積 約200ha※
※数値は速報値

北海道開発局の排水ポンプ車3台が現地へ移動中

栗原市

若柳金成 I C



築館 I C

